

令和2年度 学力向上に向けた検証改善シート

作成例(中学校)

尾道市立

瀬戸田中学校

市学力調査

1年生 市学力調査(6月)

教科	国語	数学
結果 (対全国比%)	92.7%	89.5%

2年生 市学力調査(6月)

教科	国語	数学
結果 (対全国比%)	95.3%	97.2%

全国学力・学習状況調査の活用

3年生 全国学力・学習状況調査の活用(12月)

教科	国語	数学
結果	81.8	56.8

2学期中の実施した数値を記入。

1 課題

項目は参考です。

【国語】

1年…漢字を書き力(-9.9%)、話し合う(-11.5%)となり、話すこと聞くことが最も低い。互いの立場や意図をはっきりさせながら話し合うことや、相手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる問いの正答率が低い。

2年…文法・語句に関する知識(-5.1%)、説明文の内容を読み取る(-6.3%)、作文(-4.8%)となる。文章の展開に即して内容や要旨をとらえる問題の正答率が低い。

3年…読んだことをもとに条件を満たして、自分の考えが相手にわかりやすく伝わるように工夫して話すことができるかどうかを見る問いの正答率が低い。(43.9%)

【数学】

1年…百分率(-12.7%)、場合の数(-19.2%)、比と比例・反比例(-18.6%)、となる。割合についての理解や、選び方が何通りあるか、比を利用して全体から一部の量を求める問いの正答率が低い。

2年…比例・反比例(-7.2%)、空間図形(-6.2%)となる。比例の式からグラフをかくこと、扇形の面積の求め方、ねじれの位置を見る問いの正答率が低い。

3年…筋道立てて考え、新たに見いだした事柄を説明することに関する問いの正答率が低い。(29.8%)

2 めざす姿

【国語】

- 主体的に話し合いに取り組み、相手の意図を理解しながら、自分の考えを述べることのできる生徒の育成。
- 文章の展開に即して内容や要旨を読み取り、相手にわかりやすく伝える生徒の育成。

【数学】

- 基本的な数学の技能が定着した生徒の育成。
- 数学の技能を用い、筋道立てて説明することのできる生徒の育成。

3 めざす姿に向けた取組の具体

2学期の取組

- 授業において、ICT機器やホワイトボードを用いた意見の交流の場を1時間に1回は設けるようにした。
- 終礼の際、毎日1人ずつ1分間スピーチを行い、発表の場を確保した。
- 毎日セミナー学習として1日1教科、1週5教科を行った。

検証

○学校評価のアンケートにおいて、「ICT機器、シンキングツール、ホワイトボードを用いるシンキングタイムで考えが深まった」と答える生徒は83.3%となったが、「友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意です」と答える生徒は61.0%にとどまった。

定期テストや小テスト等を活用しての検証

3学期の取組

- 1年生と、2年生でSST(ソーシャルスキルトレーニング)をSSWの方と連携して実施した。(2年生は実施予定)その中で、相手に自分の考えや思いを伝えることや、相手の意見を肯定的に聞くトレーニングを行った。

検証

○来年度の生徒アンケートにおいて、「友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意です」と答える生徒の割合を確かめる。

定期テストや小テスト等を活用しての検証